

TAC・Wセミナー 2024・2025年度合格目標

国家総合職内定者アドバイザーホームルーム

第1回『国家総合職への道～君たちはどう生きるか～』

10月25日(水)新宿校・10月30日(月)オンライン



【本日の予定】

1. HRとは
2. 内定者アドバイザー(LA)の自己紹介
3. LAの就活スケジュール
4. 今後の過ごし方
5. 今後の告知
6. 質疑応答

【HRとは】

HRとは、私たち国家総合職内定者アドバイザー(LA)が、皆さんの勉強と官庁訪問対策をサポートする機会です。それぞれの時期にあった内容で、計6回のHRを用意しています。

基本的に月に1回のペースで新宿校とオンラインにて開催する予定です。それぞれの時期にLAが就活生だった時期に不安に思っていたことや、欲しかった情報などを、徹底的に分かりやすくお伝えしたいと思っています。

途中入場・退出は自由です。日ごろの勉強の息抜きに、小さな悩みを解消するために、内定者しか知らない話を聞きに、勉強仲間を見つけに、ぜひお気軽にご参加ください！

カウンセリング等でLAに寄せられた質問やその回答については、個人情報が分からない形で、その都度このHRで皆さんと共有したいと考えています。

【今後の予定】

第1回HR

「国家総合職合格への道～君たちはどう生きるか～」

10/25(水) 16:30～17:30 新宿校

10/30(月) 18:30～19:30 オンライン

第2回HR

「国家総合職合格への道～皇天親無く惟徳を是輔く～」

内容: 専門試験対策、官庁訪問のイロハ

11/27(月) 18:30～19:30 オンライン

11/29(水) 16:30～17:30 新宿校

第3回HR

「模試の活用法、民間就活・併願、年末年始の過ごし方(仮)」

12/13(水) 16:30～17:30 新宿校

12/15(金) 18:30～19:30 オンライン

第4回HR

「記述試験対策、政策論文対策、官庁訪問の実際①(仮)」

日程未定

第5回HR

「官庁訪問の実際②(仮)」

日程未定

第6回HR

「官庁訪問の実際③(仮)」

日程未定

(日程・校舎にご注意ください)

【LAの自己紹介】

高田

農林水産省/東京外国語大学言語文化学部/教養区分

【併願先】国土交通省、民間企業(金融)

【訪問先】農林水産省、国土交通省

【講座】1.5年法律本科生

【専攻】イタリア

【得意科目】文章理解、官庁訪問

【苦手科目】数的処理、企画提案

【しておいてよかったこと】省庁主催イベントへの参加、内定者カウンセリング

【マイブーム】おいしい串焼き店めぐり、チャーハン、地域猫

【メッセージ】

官庁訪問まで長い道のりであるように感じるかもしれませんが、意外とあっという間です。皆様の就職活動を全力でサポートさせていただきたいと思います！

対策に関する相談から軽いおしゃべりまで、ぜひ気軽に話しかけてください！



北

デジタル庁/横浜国立大学経済学部経済学科/経済区分

【併願先】人事院

【訪問先】デジタル庁・人事院

【講座】経済本科生

【専攻】財政学

【得意科目】数的処理、経済原論

【苦手科目】社会科学

【しておいてよかったこと】説明会に積極的に参加すること、官庁訪問自主ゼミ

【マイブーム】温泉、筋トレ、サッカー、

【メッセージ】これまでの人生の中で一番自分と向き合ったのは就職活動だと感じました。それ故に辛いことや不安に出会うと思いますが、皆さんの就活が意義あるものにできるよう全力で支え



ていきます！悩みや不安など気軽に相談してください！

曾山

内閣府/慶應義塾大学法学部法律学科/法律区分

【併願先】厚生労働省、衆議院事務局総合職、
参議院法制局総合職、東京都庁、国家一般職、
(横浜市役所、裁判所事務官)

【訪問先】内閣府、厚生労働省

【講座】法律本科生

【専攻】刑法

【得意科目】憲法、行政法

【苦手科目】民法、専門記述

【しておいて良かったこと】省庁説明会への参加、官庁訪問自主ゼミへの参加、TAC内定者ホームルームへの参加

【マイブーム】バイト、人と会うこと

【メッセージ】試験や官庁訪問など、長い道のりですが、一緒に頑張っていきましょう！
また、国総をはじめとして色々な公務員試験を受けたので、その体験談も話せるかと思います。
気になる方はお気軽にご相談ください！



高崎

外務省/早稲田大学法学部/政治・国際区分

【併願先】農林水産省、民間(コンサル)

【訪問先】外務省、農林水産省

【講座】政治・国際本科生

【専攻】民事訴訟法

【得意科目】文章理解、数的処理、国際法

【苦手科目】政治学・国際関係

【しておいて良かったこと】省庁イベントへの参加(特にインターン)・TACカウンセリング

【マイブーム】野球観戦

【メッセージ】



政治学や国際関係についての知識がゼロの状態から3.4か月程度勉強し、政治・国際区分で受験をしたので、勉強計画や方法についての経験について色々話せるかと思います！
民間就活との両立についてでも何でもお気軽にご相談ください！

吉田

外務省/早稲田大学法学部/政治・国際区分

【併願先】経済産業省、民間（総合商社、WEB広告等）

【訪問先】外務省、経済産業省

【講座】政治・国際本科生

【専攻】国際法

【得意科目】政治学、国際関係、憲法、国際法

【苦手科目】数的処理、自然科学

【しておいて良かったこと】

官民間問わず、また志望省庁に捉われず、常に広く視野をもちながら納得して進路選択をおこなったこと。

【マイブーム】筋トレ、スラムダンク、鯖飯

【メッセージ】

試験対策をしている間、不安で眠れない日もあれば、解ける問題が増えて嬉しい日もあります。
少しずつ、確実に成長していけるよう全力でサポートしていきますので、これから半年間よろしく
お願いします。



【LAの就活スケジュール】

〈教養区分〉

高田 ※4年秋から5年夏まで休学していたので、5年卒の人間です。

時期	活動内容	勉強時間	具体的な行動など
3年生 3月～ 4年生 7月	・教養区分対策開始	3h	・TOEIC受験 ・数的処理、憲法の講義を受け始める ・民間インターンも幅広く受け、自分が何に心を動かされるかを確認する機会をとる ・大学の授業・サークルに追われながらも、ルーティンとして数的処理を嗜む
8月～ 9月	・対策を本格化	10h	・数的処理と文章理解は問題集を反復 ・知識分野は教科を絞ってひたすら暗記 ・なぜか農工大の授業をとり始める ・9月からは教養区分対策に専念するため、民間の説明会 ・インターンを控える ・農水省の1dayインターンに参加し、単純に憧れる
10月～ 11月	・教養区分一次合格 ・自主ゼミで二次対策 ・業務説明会行き始める	8h	・ワンチャン一次合格してるんじゃないか？との淡～い期待を胸に、ひとまず合格前から面接カードの作成にとりかかる ・企画提案についての知識がゼロでもものすごく不安だったため、分からないことはぜんぶ内定者に質問して、本番の具体的なイメージを膨らませる ・自主ゼミや対策講座で、練習を重ねる ・たった一人、同大学の受験生と出会い、情報交換や一緒に対策を行う(官庁訪問対策でも互いに切磋琢磨し、今ではベトナムに行くくらいのマブダチ) ・各省庁の説明会やグルディスに参加してみる(この時期は民間<省庁) ・試験の一週間前に外語祭に行き、各国のエネルギーを吸収する
12月	・教養区分最終合格 ・農水省の説明会ラッシュ	1h	・試験からの解放に浮かれ、小中高大それぞれの同級生とふらふら遊ぶ ・2,3日に1回は、省庁主催のイベントに参加する

			・この頃から、農水省の説明会・座談会には毎回、対面参加をする ・環境省、文科省、総務省などの説明会にも参加し始める ・各省庁が主催する最終合格者説明会に参加することで、刺激を受ける ・民間1社から内々定をもらい、若干の自信を得る
1月～ 2月	・OG訪問 ・イタリア渡航	1h	・OG訪問後に採用担当とお話をした際、「なんで国家公務員の総合職なの？」との質問に上手く答えられず、ひどくぴえんとなる ・農水省の志望動機についてもぼんやりしたものしか答えられず、むしゃくしゃしながらイタリアに渡航 ・農泊などしつつ、頭の中を整理する ・イタリア中は就活を全くせず、パスタを食べまくった
3月～ 5年生 4月	・説明会 ・職員訪問 ・OG訪問	2h	・それまでの就活の遅れを取り返すがごとく、ほぼ毎日就活に励む ・内定者アドバイザーや同大学の内定者に、志望動機を詳しく尋ね、参考にする ・採用担当との座談会にて、自分の志望動機を、過去の自分の経験を交えながら時系列に話してみる(刺さる?) ・国交省の説明会に参加し始める ・同大学同学科の農水省OGに連絡をとってお話し、志望度が爆上がりする(先輩、今はイギリス留学中、悲しい) ・志望度の高い民間1社にエントリー、選考に進む ・部活に復帰し、パン屋の早番を始める
5月	・説明会ラッシュ	3h	・この時期には志望省庁を3つに定めていたので、できる限りそれらの説明会に参加する ・農水省の身上書をほぼ完成させ、深掘りに耐えられるための志望動機の補強や、各政策のまとめなどを行う ・国交省の職員訪問を行い、興味を持ったため、第2志望に決める(以後、国交省については担任カウンセリングや自主ゼミで対策)
6月	・官庁訪問 ・内々定	2h	・国交省と環境省の身上書を完成させ、担任カウンセリングで見えていただく

			・第1クールの農水省と国交省に手応えがあったことと、体力面の不安から、3日目に回る予定だった環境省を辞退
--	--	--	--

※2024年度の春試験は3月中に実施されます。ご注意ください！

〈法律区分〉

曾山

時期	活動内容	勉強時間	具体的な行動など
2年生3月	・数処開始 ・憲法開始	1h～3h	・民間や省庁の合同説明会(オンライン)を視聴。自分が何をしたいのか、どんな仕事に就きたいのか考えてみる。 ・数処が苦手なので、緊張感を持つためにあえて教室講義に通う。が、講義内で問題が解けず普通に辛かった。 ・毎日数処を解くように意識。(1日1～3時間程度) ・ざっくりとした省庁研究をしてルーズリーフにまとめてみる。 ・法律科目はオンラインで倍速受講(のはずがなぜか大体4時間かかる)。 ・憲法は法律講義のT先生の教えを忠実に守り、講義後すぐ問題を解く。 ・月末の旅行を境に勉強本気モードへ。
3年生4月	・民法開始 ・数処演習	3～4h	・大学の自習室に課金する。以後、往復2時間かけ、週4～6で大学の自習室に通い勉強。 ・大学の講義に時間を取られて思うように勉強できず。
3年5月	・数処演習	3～4h	・法務省のインターンに落ちる。 ・ゼミ、講義に追われながら毎日数処に触れる。
3年6月	・数処演習	3～4h	・民間就活にも手を出し、個別説明会(オンライン)にも出てみるものの、ピンと来ず。 ・英検準1級取得

3年7月			・大学の期末試験、レポートに追われ、勉強を一旦ストップ。
夏休み	・憲法択一、記述講義 ・民法択一講義 ・数処演習 ・知識科目	3~10h	・基礎能力模試を受けるが、あまり勉強していない第二部で時間が余り、途中退出。 ・溜めていた憲法・民法の講義をひたすら消化。 ・知識科目の暗記を始める。人文は地理・世界史、社会科学は法律・政治、理科は生物・化学を中心に勉強する。 ・民間のインターンに応募、参加。ピンと来ず。 ・ちょくちょくご飯に行って息抜きをする。 ・全身麻酔で親知らずを抜く。医療ってすごい。
10月～11月	・教養区分一次落ち ・業務説明会 ・行政法開始 ・刑法開始	6h	・ワンチャン狙いくらいの気持ちで教養区分を受けに行き、しっかり落ちる。 ・落ちても気にしないつもりだったが、思った以上に周囲に一次合格者がいて少しへこむ。ぴえん。 ・本格的に説明会に参加し始める。内閣府と厚労省と法務省に目星をつけ、特に内閣府と厚労省の説明会に重点的に出席する。 ・民間インターンと公務員説明会が入り乱れる。 ・11月以降は民間就活を辞め、落ち着いて勉強に取り組む。 ・とにかく民法の演習を頑張る。テキストと問題集を4分野(総論、物権、債権総論、債権各論)に切り分け、それぞれまわす。切り分けると薄くなって電車でも読みやすいのでおすすめ。
12月	・労働法開始 ・自己分析を始める	10h	・ネットで拾った自己分析シートを埋めてみる。改めて自分がどういう人間なのか把握する。 ・勉強の合間に省庁の説明会に参加し、気分転換。 ・膨大な勉強量を前に、合格できるのか不安で病む。次の年のコナン映画だけを楽しみに生きる。 ・年末までに、おそらく民法は問題集3~4周、行政法は2周途中、憲法は3周くらいはしていた

1月～2月	・各科目の答練を受ける ・財政学開始	10h	・1月末の択一模試で少し自信をつける。初めて努力が報われた気がした。 ・答練を書き始めるも、ボロボロ。択一に集中しなかったため、結果から目を背け続ける。 ・週に2, 3回省庁の説明会に参加。(厚労省はどきどきの職場訪問初参加。念入りに準備をしていく。)
3月	・論述模試 ・論述練習	10h	・論述模試は行くだけで偉くない？などと思いながら受けに行く。意外と書けた気がする。 ・大学の図書館で過去問集を借り、1週間に2年分ほどまとめて解く。ほぼTACの教材で解いていたので毎回高得点を取り元気が出る。 ・選択科目の勉強をあまりしてこなかったことを今更後悔し、焦り始める。
4年4月	・法律区分一次試験 ・衆議院事務局一次試験、二次試験(論文、面接) ・参議院法制局一次試験、二次試験(論文) ・都庁一次試験	10h	・国総一次試験で良い結果を残し、油断する。結果、論文の準備が間に合わず... ・ご褒美にコナンの映画に行きまくる。 ・衆議院事務局の面接官が優しくて、「面接得意かも」と勘違いする。 ・併願しすぎて本命以外の面接や試験のことが忙しく、時間的・心理的に圧迫される。
5月	・法律区分二次試験 ・参議院法制局二次試験(面接) ・衆議院事務局三次試験(面接)	7h	・二次試験の民法が分からなすぎて不合格の文字が頭をよぎるが、出した答案は変えられないと割り切り、人事院面接の準備をする。 ・二次試験後は説明会、面接練習、併願、自主ゼミ等で毎日スケジュールが埋まる。 ・参法の70分面接・衆事の10人面接で詰められ、強いメンタルが生まれる。ここで鍛えた(?)メンタルで、官庁訪問も乗り切った。 ・省庁研究。分野や局ごとに、興味のある政策や課題を調べてノートにまとめる。これが官庁訪問で大いに役に立つ。

6月	・自主ゼミ ・官庁訪問、内々定	6h	・訪問順を悩みつくす。 ・TACの自主ゼミに参加して、ES添削し合ったり政策研究をする。楽しかった。ここで出会った人と官庁訪問中に再会して励まし合って、2クールと3クールの合間にご飯も行ったので、自主ゼミにはぜひ積極的に参加しよう。
----	--	----	---

〈経済区分〉

北

時期	活動内容	勉強時間	具体的な行動など
2年生 3月～ 3年生 9月	・TAC入会 ・大学の勉強やゼミに追われる ・だらだらと勉強 ・イギリスに一か月の短期留学とフランスに数日旅行	1h	・大学の授業・ゼミ・バイトに追われ公務員の勉強に身が入らない日々。 ・ここでサッカーにはまり、昼夜が逆転すること。 ・勉強は数的処理しかしていなかった。 ・自分とは何かともややしていたので一旦やりたいことをやってみようとイギリスへと飛ぶ。 ・留学後謎に自分に自信がつく。 （何度か命の危険をのりこえたからかも）
10月～12月	・変わらずだらだら勉強 ・説明会に行きはじめる	1h	・秋試験は準備不足だと感じ、受けなかった。今思えば受けておけばよかったと後悔。 ・変わらず数的処理だけを謎に続け12月末から経済科目に手を出す。 ・国交省に内定した先輩に相談している中で説明会には積極的に参加した方が良いと告げられ、総務省の説明会を中心に参加し始める。 ・年末は実家に帰省し、地元の友達と悔いなく遊ぶ。
1月	・公務員試験の勉強に本気になる ・説明会に積極的に出る ・大学のテストに追い込まれる	6h	・帰省を終え、勉強に対する熱が爆発する。 ・といえどもバイトや大学の授業に縛られ思うように勉強ができなかった。 ・やってもミクロとマクロのみ勉強していた。 ・説明会で公務員に対するモチベがたかまった。 ・下旬は大学のテスト勉強に必死になる。
2月	・説明会で総務省に自分が合うのか違和感を覚え、デジタル庁に舵を切る。 ・バイトをやめる。	8h	・経済原論・財政学をマスターするのに時間がかかる。説明会とバイトで疲労し勉強を十分にできていないと感じる日々。 ・バイトをやめ、2月の下旬から本当に力を入れた。 ・しかし、ここで名探偵コロンにはまる。 （哀ちゃんの沼に）

3月	・ガチになる	10～14h	・残っていた統計学・計量経済学、経済事情・経済史、国際経済学、経営学を1か月でマスターする。1週間に1科目ひたすら受講からの問題集を繰り返した。たぶんそれぞれ少なくとも三周はした。 ・息抜きにコ〇ンの視聴と5kmランニングをおこなっていた。 ・説明会でデジタル庁の政策や雰囲気自分が自分に合っていると確信して目指すことを決意する。
4年生 4月	・試験直前で極まる。 ・息抜きで解放 ・病にかかる	12h (上旬)	・経済事情など暗記科目をひたすら。そして今まで間違えた問題にしるしをつけていたのでそこを中心に復習していた。 ・試験直前まで正直完璧に問題をこなせていなかったのが本番でいくつか取りこぼし後悔。やはり、早めにしっかりやっておくべきだったと思うと同時に、時間が無くてどこを責めるか絞って勉強していたのは功を奏した。 一次試験後コナンの映画とback numberのライブを堪能し、このために頑張ってきたのだと感じる。 ・しかしその翌週カンピロバクターにかかり1週間寝込んで絶望する。 ・二次試験に向け択一の問題集も使って丁寧に記述して解くことを意識した。
5月	・二次試験勉強開始 ・官庁訪問対策を開始(主に自主ゼミ)	4h	・二次試験の対策は問題集を周回して、過去の高得点の答案再現を参考に記述の書き方を学んだ。 ・面接はTACの模擬面接を数回利用した。 ・しかしそれでも深堀が甘く説明もあやふやになり、面接官にピンとこないねといわれてしまう。しかしまあ大丈夫だろうのマインドで官庁訪問対策をする。 ・TACのデジタル庁自主ゼミで素敵な出会いに恵まれ、定期的にズームでミーティングして考えをブラッシュアップしていた。 ・デジタル庁の座談会で職員の方と話し込んでアピールした。
6月	・官庁訪問 (デジタル庁、人事院)	3h	・無事合格し、官庁訪問へ。 ・対策はデジタル庁がやっている政策(ホームページにのってる)の中で興味があるもの絞り、それをとにかく掘り下げ自分の中に取り込んでいた。

			・一般職も申し込んでいたが官庁訪問前日＋サッカーのUCL決勝が深夜にあったので受けないことにする。 ・前日に精神がおかしくなってしまったため、温泉に向かいサウナですべてを解消した。 ・初日からすでに高評価をもらえたので安心しきっていた。 ・第二クールは第一クールで聞いた話を整理して成長したことをアピールしていた。 ・そこからはもう話を聞きに行く感じで内々定をもらう。
--	--	--	--

〈政治・国際区分〉

高崎

試験	活動内容	勉強時間	具体的な行動など
2年生2月 ～ 3月	・TAC入会	1h	・数的処理の問題に触れる ・外務省を志望する
3年生4月～ 10月	・公務員試験の勉強を さぼる ・外務省のインターン・ 説明会に参加する ・教養区分の試験を受 け、落ちる	ほぼ0h	・大学の授業・ゼミに追われ勉強を全くしなくなる。 ・夏休みに外務省のインターンに参加し、外務省への志望度 が高まる。説明会にも3度ほど参加する。(私にとってはイン ターンでの経験が合格の鍵だった) ・調子に乗ってほぼ無勉強で教養区分1次試験を受験したも のの、見事に落ちる。
11月末	・公務員試験の勉強を はじめる	3～6h	・政治学・国際関係の講義の受講を始める。1.4倍速で受講 し、講師の発言をテキストに直接書き込むようにする。 ・カウンセリングを利用し、勉強計画を一緒に立ててもらう。
12月	・公務員試験の勉強を 引き続き行う。 ・大学のゼミ(民事訴 訟法)を頑張る ・農林水産省の座談会 に初めて参加する。	3～6h	・カウンセリングを利用する。 ・基礎能力試験の模試を受け、苦手分野・得意分野を意識し て勉強を始める。基礎能力のデータの問題を解き始める。 ・農林水産省の雰囲気の良いさに触れ、併願することを決意す る。
1月	・大学の勉強 ・公務員試験の勉強を 行う。(政治学・国際関 係の講義を受講し終え る) ・TACの模試を受ける	0～1h	・大学の法律の試験勉強に全力を注ぐ。大学の法曹コースを 修了する。 ・カウンセリングを利用する。 ・模試を受け少し自信をつけるとともに、抜けている知識を確 認する。
2月	・民間の就職活動を始 める ・政治学、国際関係、 国際法の問題演習を 始める。	4～6h	・民間の就職活動をするために、自己分析・ESの添削・企業 説明会への参加を行う。 ・問題演習をはじめる。 ・模試の点が非常に悪く、気合を入れなおして勉強する。

	・TACの模試を受ける ・外務省と農林水産省の説明会に参加してモチベーションを維持する		
3月	・民間の就職活動が本格化する ・政治学、国際関係、国際法の問題演習を続ける ・憲法の問題集の答えだけ読む ・数的処理を1日1～2問程度解く	4～6h	・公務員試験勉強の息抜きに、自己分析・企業の面接を受ける。(気軽な気持ちで) ・憲法は、時間がなかったので答えの解説にとりあえず目を通していた。 ・数的処理は、暗記ではない頭の使い方ができるので息抜きとして演習する。
4年生4月	・ラストスパート ・一次試験 ・民間就活終了 ・二次試験勉強開始	4～6h	・国際事情と時事の講義を2倍速で見てレジュメに一通り目を通していた。 ・一次試験で非常に良い点を取り調子に乗る。二次試験の勉強を少しさぼる。 ・民間の中で行きたかった企業から内定を得て、民間就活を終了する。ここで初めて安心して腰を据えて公務員試験に取り組めるようになる。 ・答案練習を開始する。過去問を見て要旨を起案する。 ・テキストをとにかく読み込み流れを暗記する ・政策論文の演習会に参加し勉強を始める
5月	・二次試験を受ける ・人事院面接の対策を始める ・外務省・農林水産省の人事の方と話し込む ・官庁訪問対策を開始	4h	・二次試験で撃沈し不合格を覚悟する。(民間の内定を持っていたことに心が支えられていた。) ・TACの講師に面接対策をしてもらう。面接カードについてもアドバイスをもらう(民間就活が役に立った!!) ・人事の方と積極的に連絡を取り、志望動機作成・自己分析を助けていただく。(自分をどう捉えているか・どこの考えが足りないかを示唆してもらえて非常に有意義だった。) ・農林水産省の職員訪問を3回行う。農林水産省のインターンには参加していなかったので、仕事の解像度を深めることができた上に、霞が関に通うことでモチベーションが上がった。 ・外務省を目指す友人と面接対策・政策研究を2日に1回のペースで行う。

			・農林水産省の対策をTACの自主ゼミで行う。
--	--	--	------------------------

〈政治・国際区分〉

吉田

時期	活動内容	勉強時間	具体的な行動など
2年生 12月	・TAC入会 ・web広告での1年間の学生インターンを終える	0h	・とりあえず入会（ゼミで試験勉強どころではなかった） ・民間でのインターンを終えて、本格的に公務員へと進路の舵を切る。
1月	・外務省の座談会に初参加 ・数的処理に着手 ・2年次の必修単位を拾い集める旅に出る①。	6h	・説明会は参加までのハードルが高く勇気が要る。個人的にはもっと早く参加したかった。 ・問題を解きながら講義を受講すると自然とこれくらい時間はかかる。
3月	・数的処理の講義 →とりあえず1周目終了	6h	・とりあえず受講して全体像を把握することが目的だった。 4月以降は解けそうなところから演習開始。
3年生4月	・数的処理の演習 ・日本史、世界史の復習	6h(土日) 3h(平日)	・数的処理は気づいたら3時間とか平気で経ってしまうので時間が足りない。 ・歴史はほぼ趣味でやっていた。
6月	・官民のインターンのES準備を始める ・JAXAを見学し、就職先として視野に入れる。 ・2年次の必修単位を拾い集める旅に出る②	6h(土日) 3h(平日)	・ES対策やそのための勉強（主に省庁研究）がメイン。試験対策は数的処理のみ。 ・2年次の必修単位を取り終える（余裕の表情）
8月	・経産省（上旬） ・外務省（中～下旬） ・防衛省（下旬） ・川崎汽船インターン ・JERAインターン	0h	・この期間はほぼほぼ勉強していない。インターンシップに参加。省庁をよく知り、自分の興味関心の幅を広げ、深める期間だった。 ・試験勉強の面では不安が残るが、官庁訪問ではこの期間の学びが土台となり、選考を有利に進めることに繋がったと感じる。早稲田校の今西さんには怒られたけど個人的にはかなり有意義な時間だった
9月	・迷走期 ・スウェーデン語を学習 ・カフェで毎朝ブラジル人と英会話	0h	・スウェーデン語の学習に目覚め、ドイツ語より簡単だが英語より難しいことを知る。ゲルマン言語間の難易度の感覚をなんとなく掴む。 ・ブラジル人との会話を通じて、簡単なワードすらパツと出てこない自分に絶望する。

10月	・教養試験をガン無視して昼から焼肉に行く ・切り替えてカウンセリングに行く。 ・専門試験の対策を始める(政治学、国際関係)	12h	・教養試験を受けるか朝まで悩んだけど、勉強してないのに受けてもしゃーないということで昼から焼肉へ。美味かった。 ・切り替えて専門試験の勉強を始めた。 →年末までに受講+復習を終わらせる計画 (成功するとは言っていない)
11月	・Creepy Nuts のライブでぶち上がる (in早稲田祭) →無事コロナに感染 ・1週間勉強を中断し療養	13h	・「かつて天才だった俺たちへ」を生で聴いて普通に泣いた(知らん) ・コロナ辛すぎて泣いた(わかる) ・先月の計画が一週間分ずれ込んで先生にしかられる。
12月	・政治学の受講+復習 ・国際関係の受講+復習 ・数的処理	13h	・外務省の憧れの先輩とご飯に行ってもモチベがぐーんと上がる。合格し、笑顔でまた会えるようにと、自分を追い込む。
1月	・生活リズムが崩壊する ・政治学と国際関係の問題集に着手。憲法と国際法の講義を受講し始める	10h	・朝に用事がないと起きれないので、昼から活動をする。 ・また、朝に用事を入れても起きれないので、昼から活動する(哲学) ・イスラエル/パレスチナの人々とディスカッションし、国際問題の当事者に第三国の人間としてどう関わるべきか思い悩む。と同時に外務省での業務イメージの解像度がぐっと上がる。
2月～3月	・生活リズムが崩壊する(定期) ・徹夜で1～3次面接を終えて、内定を取る(web広告)	12h	・朝の7時に眠り、夕方から活動を開始する。図書館を使える時間は短い、大学自体は22時半まで静かなラウンジをつかえるため集中して勉強した。
4年生4月	・専門一次合格	12h	・だんだんやる事がなくなってきた、「早く本番こい」の領域に達する。 ・数的処理も含めて実力が発揮された。過去最高点で一次を突破。試験翌日は完全オフ。古本屋巡りをしたのが楽しかった(in 神保町)。
5月	・専門二次試験 ・神社に毎日お祈りをする(記述の足切り突破していますように) ・故郷に帰省 ・人事院面接	6h	・尚も「早く本番こい」の領域を展開中。 ・試験当日、専門記述の行政学でやらかしたような気がして、12月の外務省の先輩に会場からLINE。励ましの言葉をもらって午後の政策論文に臨む。帰りに高崎萌寧(上記LA)とご飯を食べる。

		・故郷に帰省し、スラムダンクの聖地を巡礼する。「夏が終わったら、俺はアメリカだ(沢北)」と言い聞かせる ・人事院面接の本番前日、住民票の原本を用意する必要があることに気づく。絶望と共に本番を迎えるが、後日再送付が可能であることを知りなんとか耐える。
6月	・専門試験、最終合格 ・官庁訪問	・とりあえず家族と高校時代の恩師に電話。官庁訪問もがんばると誓う。 ・第一クール、前日興奮して寝られず。2時間睡眠で臨む。なお、当日は最高評価の模様(うるさい) ・第二クール、内々定を示唆される。 ・第三クール、無事遅刻(は?) ・第四クール、なんとか耐えて、外務省から内々定をもらう。←今ここ

【今後の過ごし方】

秋の教養試験を受験された方はお疲れ様でした。無事一次試験に合格された方、これから春試験にむけて準備を始める方それぞれいらっしゃるかと存じます。ここでは、それぞれのケースに分けて内定に向けて今後やるべきこと、過ごし方等を紹介します。

1 教養区分一次合格者

教養区分一次試験合格おめでとうございます！去年の二次試験の倍率は約1.5倍です、必ず最終合格を勝ち取りましょう。私たちも、全力でサポートさせていただきます！

一方、企画提案試験のテーマや政策課題討議のメンバーによって、合格の可能性が多少変わってしまうのもまた事実です。仮に不合格になったとしても、この経験は後の試験や官庁訪問にも活かされるので、まずは二次試験に向けて万全の準備をしましょう。

さて、これから二次試験までの過ごし方としては、極力、二次試験対策に時間を割くことをおすすめします。私は、二次試験までの間は春試験対策を行わず、説明会の参加はオンラインにしていました。

二次試験は、企画提案試験・政策課題討議試験・人物試験の3種類がありますが、全てにおいてコミュニケーション能力やその場での対応力が求められており、相手が誰であっても高く評価されることが合格のカギです。

合格のためには、

- ①自主ゼミなどを通して、一次試験に合格した友人と練習を繰り返す
 - ②教養区分最終合格の先輩(LA含む)から試験に関する情報やアドバイスをもらう
 - ③TACイベントである模擬試験を活用して、**LA**や**TAC**の先生から評価してもらう
- の3つの方法で対策することがおすすめです。

①

二次試験の受験生を、同じ大学やTACの中で見つけると良いと思います。なるべく多くのコミュニティの人たちと繋がることによって、さまざまな予備校等の情報を受け取ることができるので、自分から積極的に仲間を作っていきましょう。

ちなみに、TACでは自主ゼミにて多くの二次試験の受験生が集まるので、その際にLINEなどを交換すると良いです。また、ここでできた友人が官庁訪問対策でも心強い仲間になり得るので、みんなで協力することを超おすすめします。

②

大学で国家総合職を目指している人のコミュニティ等があれば、ぜひ有効に活用してください。私は、所属大学だけでなく別大学のコミュニティに潜入し、政策課題討議や人物試験のアドバイスをもらっていました。

また、私たちLAも、内定者アドバイザー相談会などで顔を合わせる機会があるので、その際に面接練習などを行い、ぜひ自分に対する客観的な評価や改善点を得てください。LAには先輩から受け継いできたノウハウがありますし、TACの講座の活用方法も説明できます。どんどん私たちを活用してください。

③

TACで行っている模擬政策課題討議や模擬企画提案、模擬人事院面接を通じて、LAやTACの先生からフィードバックをもらいましょう。そもそもこういった試験なのかを掴むためにも、ぜひ一度は参加しましょう！

【(参考)二次対策スケジュール】

高田の場合

時期	企画提案	政策課題討議	人物
合格発表前	何もせず	8月末のTAC模擬と民間就活のGDを経験	面接カードの初稿
10/23～	TACの合格者ゼミに参加して、今後のイメージを掴む		
10/31～	白書を読む、アイデアを練る	TACの模擬政策課題討議に参加し、大事なポイントを日々抑える	面接カードの再考と自己分析
11/7～	白書から考えるテーマを作成 →施策を練り、模擬企画提案で練習	自主ゼミにて、予想問題をいくつか練習	TACの模擬面接や自主ゼミで練習
11/15～	大学の公務員アドバイザーから厳しい指摘を受けたため、施策を再考 ある程度どのテーマにも当てはまりそうな施策を3つ用意 レジュメ作成や質問対応の準備	TAC以外のコミュニティでもZOOMで練習	模擬面接や自主ゼミ、親とのZOOMにて練習 TACの出している想定質問に対して、ひたすら回答を考える作業
直前期	レジュメ作成や質問対応の準備 プレゼンの練習	日々まとめていた大事なポイントを最終確認	親(時間的余裕があり、かつ真面目に面接してくれる人物)と、何度も面接練習をすることで即興性や自信をつける
2次試験後	モチベ維持のため、省庁の説明会に出まくる		

2 春試験受験者

(1)教養区分振り返り

秋の教養区分が残念な結果だった方、未受験の方は現状を把握することから始めましょう。特に、未受験の方は過去問を解いてみましょう。

①基礎能力試験

秋の教養区分の基礎能力試験と春試験の基礎能力試験は問題数は異なるものの、問題の難易度などは同レベルです。ここで一度自身の現在地を確認し、今後の勉強を効率よく進めることをお勧めします。

科目	秋出題数	正答数	春出題数	目標点数	頑張り度合い
文章理解	8問		10問		
数的処理	16問		14問		
自然科学	10問		自然・人文・社会に関する時事、 情報 6問		
人文科学	10問				
社会科学	10問				
時事問題	0問(上記問題に併合)				

②総合論文

総合論文の点数がわからず不安な人もいるかと思いますが、まずは自分の体感で振り返りましょう。①時間配分はうまく行きましたか。②論文を書くにあたっての知識は十分でしたか。③書き方や内容は分かりやすく、簡潔でしたか。

自身でもう一度振り返り、より良い文章が書けるように練習していきましょう。

①時間配分についてはそれぞれの戦略があるかと思いますが1題につき120分の試験では構成等を考えるために30分使い、実際に書く作業で90分使うことが一般的です。実際に自分の書くスピードを把握しておくと思いいます。そのうえで戦略を立てましょう。

②知識に関しては資料が与えられているため不要に思えますが、そんなことはありません。ニュースや新聞のトピックは押さえない所です。さらに踏み込んで何故問題になっているのか、解決するにはどうすればいいのかを自分なりに調べたり考察するようにしましょう。それを家族や友人等と話し合うこともいいと思います。また、資料は受験者と採点者が把握する唯一の共通事項であることを忘れずに記述を組み立てると良いと思います。資料同士の関係や、その資料が使われた理由についても考えながら、記述しましょう。こうすることで資料を最大限生かすことができるはずです。

③優れた文には優れたリズムがあります。そのリズムを体得する手段としておすすめなのはとにかくまねることです。本や論文を参考にするのも良いと思います。私の場合は憲法のテキストで行っていました。憲法の内容、例えば幸福追求権の説明がされている部分を写すなどをして、ディスコースマーカーの使い方など論理展開の仕方を学びました。

③その他

勉強法やルーティン、その他にも悩み事などがあればLAや担任に相談してみてください。

(2)これからどうするのか

春試験に向けては専門択一に集中して勉強しましょう。というのも得点傾斜が基礎能力試験の1.5倍であるからです。

基礎能力試験は数的処理や文章理解が中心です。一朝一夕に力がつくものではありませんので毎日継続しましょう。

【(参考)春試験対策スケジュール】

<法律>

曾山

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
10月最終週～ 11月末	数的処理: 判断推理は毎日2問、数的推理は週末に2時間、資料解釈は週末に2問演習。 文章理解:特になし。 知識科目:特になし。	・1か月ごとのスケジュールを作り、科目ごとの演習の進捗予定を決めていた。 ・行政法は講義を視聴。問題演習。 ・講義視聴済みの憲法は、テキストの復習を毎日30分ほど、1か月で問題集1周程度を目標にしていた。 ・同じく講義視聴済みの民法は、4分野に分け、それぞれ1週間に2单元ほどテキストを復習し、できるだけ問題集をまわしていた。	憲法の論証を 1日30分暗記。

反省点	専門択一に時間を取られ、ノルマを達成できない日もあった。	特になし	特になし
12月	11月と同じ。	11月と同じ。	11月と同じ。
反省点	特になし。	選択科目の演習をあまりしなかったこと。後々苦労した。	特になし

<経済>

北 非推奨

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
10月～ 12月末	数的処理:毎日少なくとも5問解いていた。 文章理解:週に5問 知識科目:特になし	12月末:経済理論に手を出し始める。 理想は年内に経済理論はマスターしておくこと。 他の科目は経済理論の派生なのでかなり楽になる。	特になし
反省点	とくになし	もっと早く手をつけておかないと説明会ラッシュや大学の期末等で思うように時間がとれなくなる。大学の授業とバイトがあるからと甘えていたら正月あたりからものすごく焦りだすので気を付けましょう。 大学の学部が経済だったのでそれで何とかなった節があります。	特になし

<政治国際>
吉田

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
10月～ 11月第1週	①数的処理 毎朝8:30～10:30に対策。 解けそうな問題は15～20分 で解く。そうでない問題は 5～10分で見切りをつけるよ うにした。 ②文章理解は3月までやら ない。	政治学と国際関係論を優先的に受 講する。特に政治学は面白くて、国 際関係論よりも早く受講終了し、復 習に入る。 テキストで重要とされる単語を「点」 だとすれば、講師の言葉はそれら を有機的につなぐ「線」と言える。 まずは単語の暗記、次に単語・人 物・理論を自分の言葉で説明でき るようにする。	特になし
11月第2週	コロナに感染。 一旦勉強はお預け。		
12月第1周 ～最終週	数的処理のテキストを ①②③④パートごとに切り 分ける(物理) ①数的推理(1問10～20分) ④資料解釈(2題30分)を メインに取り組んでいた。 ②空間把握は苦手なので、 本番までまったく対策してい ない。	①政治学 ・11月のリズムをキープ。問題演習 の中で発見した暗記・理解の不備 を埋めていく。 ②国際関係論 ・2講義を残して受講完了。 ・演習でも模試でもまったく歯が立 たず困る。図書館で、さらに噛み砕 いたテキストを借りて合わせた	「年内に答練 を受講して1、 2回書くこと」と いう講師との 約束を果たさ ずに2023を迎 える。
反省点	特になし。解ける分野を増 やし、切る分野を決める。 解けなくても原因を理解した ら次に進む。かなりドライに 取り組んだ。	基礎となる政治学・国際関係論を 年内にしっかり勉強したのがよかつ た。年明けからは演習と知識のメン テナンス 憲法・国際法・行政学・財政学の対 策は年明けから。	特になし

高崎

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
11月末～ 12月	得意分野・苦手分野の確認 ・文章理解については、ほぼ満点をとれたので、一切勉強しないことを決意 ・数的処理については、苦手な空間図形を捨てることを決意 ・知識問題は時間が足りず、直前に時事問題のみ勉強することを決意 時間が圧倒的に足りなかった ので、問題集・模試を活用して 問題に触れることのみ意識する	政治学・国際関係の動画視聴を終えることを目標に頑張る。 →結局すべて見終わったのは1月中旬頃だった。(遅いです) カウンセリングの日までに絶対に動画を見終えるために徹夜したこともあった。(だめです)	特になし
反省点	本番ではいい点数を取れたが、ギャンブル要素が強かったため、知識問題について勉強するべきであったと思う。	・動画視聴を始めたころテキストをすべて書き写して自分のノートを作っていたが非効率的で時間がかかるのでやめた方がいい ・動画視聴は計画的にしないと疲れる	特になし

3 内々定までにやるべきこと

* 内定者が考えたやるべきことであるので、これさえすればいいというものではありません。あくまでも内定者の主観でしかありませんのでご承知ください。

- **内定者カウンセリング**...LA高田のおすすめ。すでに内定者の知り合いがいる受講生の方もぜひ活用すると良い。個人的な活用方法としては、試験対策(企画提案のレジュメを見てもらう等)や、志望官庁のLAに国家総合職の志望動機を聞きまわる(p.6での悲しい体験参照)など。
- **担任カウンセリング**...LA高崎のおすすめ。プロの視点から、勉強計画と一緒に立ててくれたり、官庁訪問に向けた対策(志望動機・面接等)を手伝ってくれます！定期的に利用すべき！！！！
- 官庁の説明会やインターンに参加する...採用担当者と顔見知りになっておくと、官庁訪問において自分の味方になってくれるかも(最後の一押し！?)業務理解も深めることができる。また、同志の仲間と知り合うことで、情報交換ができる。
- 自己分析...就活の原点にして頂点。公務員試験は筆記試験の比重が他の就活よりも多いが、それでも就職活動に変わりはない。人物試験や官庁訪問にて、大いに役立つこと違いない。
- メンタルケア...内々定獲得へは長く陰しい道のりになる。リフレッシュできる何かを探すことをお勧めする。例えば、筋トレ、散歩、民間就活等。
- 英語試験の受験...人物試験の得点が加算されます。最大25点の加算があり、試験の突破可能性を上げることができます。まだ試験を受けていない人は、時間を作って受験しましょう。
- 新聞を読む...積み重ねがたいせつです。日頃のニュースに敏感になっていて損はありません。日経新聞(オンライン)は無料期間があるので、試したい人はどうぞ。
- 内定者HRへの参加...勉強の進捗や志望動機など、不安なことがあればなんでも相談してみましょう！毎月、教室で皆さんをお待ちしています！

【今後の告知】

★LAカウンセリング★

内定者アドバイザー(LA)は皆様のご相談をお待ちしています！

在席表は、マイページから別紙・マイページ・メールニュースを参照ください。

深刻な相談、息抜き、愚痴、何でも結構です！

★11月ホームルーム★

「国家総合職合格への道～皇天親無く惟徳を是輔く～」

内容：専門試験対策、官庁訪問のイロハ

11/27(月) 18:30～19:30 オンライン

11/29(水) 16:30～17:30 新宿校

予約不要、入退室自由です！